

○事業所名	ふらっと		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムの多様化により、保護者様から支援内容について概ね満足のお声を頂けていること。	子どもたちの成長に合わせ、日々活動に変化を取り入れられる様工夫をしています。 学習・運動・ゲーム・工作など、週替わりで様々な活動を行うようにしています。 お子様や保護者様からのご要望も取り入れた活動・外出先を計画しています。	就労やひとり暮らしへ向けた体験や見学を行い、夜のイベントや宿泊のイベント等、将来に向けた様々な企画を考案していく。
2	週1回行われる準備ミーティングや月1回行われる会議にて、職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげています。チームワークがよく、風通しのよいチームです。	会議にて出された意見や企画のアイデアを取り入れ、実践することで、次の企画に繋げ、独自の支援を確立出来るよう取り組んでいます。	本日よりご利用されるご利用者様の個別支援計画を読み、どこをポイントに支援するのか、職員全員が確認出来るよう支援計画一覧表を作成し、常に個別支援計画を念頭にした支援を行えるよう工夫しています。
3	ご利用者様の様子を直接口頭で保護者さまに伝えることで、良い関係性を築くことができていると思われます。	連絡帳に書ききれなかった内容を丁寧に説明をしている。利用中に本人が出来たこと、次に頑張りたいことを伝えるようにしている。	保護者会の開催や、保護者様との連絡ツールにより良いものを用意し、職員と保護者様との連携や保護者様同士、相談や連絡を取れるよう配慮していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会がありません。	近隣に児童館や子ども会がなく、様々検討していますが難しい部分があります。	まずは地域の店舗利用や地域イベントへの参加をすすめていきたいと思ひます。そのうえで、イベントにてご利用者様と地域の方々が一緒に遊ぶ機会を検討していきます。
2	利用人数の増加、年齢が上がることに伴い、活動部屋が手狭になってきていると思われます。	活動室以外の部屋が面談室のみとなるので、ひとり静かに過ごしたい時等、難しい場合があります。	公園遊びや近くの公共の施設を使う事で人数を分けて、落ち着いて支援が出来るよう配慮する必要があります。 近隣の施設を調べ、いつでも使える場所の確保や、他の団体との連携も必要と感じています。
3	移行支援や就業に向けた支援がまだ行えていない。	開所から卒業生が未だいない為、移行、就業に向けた支援が行えておらず、情報の収集も出来ていない現状です。	様々な事業所から情報を得ると共に、見学や体験、合同イベントを開催することで、移行支援、就労支援に浮投げていける様配慮していきます。